

兵庫県の特産物ブランディング支援

- 各市町の実績状況等を通じ、課題解決のためのワークショップの場を提供
- 官民のブランド化支援策の情報提供

概要

【講演会】



1. 成功事例から学ぶノウハウ共有

兵庫県佐用町は、官民共同で出資した有限責任事業組合(LLP)を設立し、官民それぞれの得意分野を活かして、中学校の廃校跡地にIoT技術を駆使した最新式の農業プラントを建設。品質の安定したブランドトマト「夢茜」の生産・販売に成功。佐用産品を『佐用風土(Sayo Food)』として新たなブランドを展開中。



2. 地域金融機関の取組

みなと銀行による「農・食」に関する支援内容の紹介。投資ファンド等による資金調達や、外部企業との連携による専門的かつ多様なサポート、みなと銀行グループが持つネットワークを活用したビジネスマッチング、販売及びPR支援等について、地域内の具体的活用事例を踏まえ紹介。

3. 国の6次産業化支援策

近畿農政局兵庫県拠点より、6次産業化促進のための支援策として、新商品の開発、交付金や融資の特例制度の支援メニューについて情報提供。

【ワークショップ】

4. 各市町の実績状況や課題について

8市町が2グループに分かれ、各自の特産品ブランド化にかかる取組課題を発表。商工会議所、商工会連合会、県民局、金融機関、事業者も参加し、情報交換を実施。その後は、全体での交流会を開催。



取組の成果と今後の展開

～ 兵庫五国の各エリアの地公体の宝物を全国へ～

○ イベント当日は、県内企業関係者のほか、地方公共団体職員や金融機関職員など、計46名が参加。

○ 今後もブランド化をキーワードとして継続した情報交換の場を提供、更なるネットワークの拡大を図っていく。

